

# 「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0697 ◆◆◆

22/07/27

## 【 9 月、広義の「欧州政治情勢」には要注意 】

昨年最後、12月29日付の当レターで「2022年の主な選挙」を一度報じている。ただ、紙幅の関係もあり文中でしっかりと取り上げたのは「3月の韓国大統領選」と「11月の米中間選挙」だけだった。うち前述した「韓国大統領選」に続き、「4月のフランス大統領選」や「6月の豪州議会選」、「7月日本の参院選」ーなどがすでに終了したが、年末にかけてまだまだ注目の選挙は少なくない。そこで今回は、このあと予定されている重要選挙のなかから、9月に予定されている2つを選び以下でレポートしてみたい。今回漏れた「10月のブラジル大統領選」、「米中間選挙の第2報」などは、今後機会があれば改めて報じるつもりだ。

### << イタリア総選挙 >>

前述した昨年末段階ではまったく予定されていなかった選挙のひとつが、この「イタリア総選挙」になる。今月21日、ドラギ首相が政権の退陣を発表。マツレッツァ大統領に辞表を提出し受理されるとともに、上下院の解散が表明された。ちなみに、一連の動きを受けた、イタリア総選挙は9月25日に実施される予定だ。

そうしたなか発表されたイタリア国内での世論調査によると、意外なことに現在野党である極右の「イタリアの同胞(FDI)」が堂々のトップとなっている。実際の選挙まで、まだ2ヵ月程度の期間を残しているとはいえ、世論調査トップは心強い結果だろう。

さて、そんな極右「イタリアの同胞」とはいったいどんな政党なのか。知人である大手新聞社の元欧州特派員によると、同党を率いるメローニ氏は1980年代のネオ・ファシズム政党「『イタリア社会運動』」に影響を受けている」とされ、移民や文化的な問題については「国粋主義を標榜している」という。現在のイタリアは複数政党による「大連立」が生まれ、その主軸を担うのは中道左派の「民主党」。それが極右政党に切り替わるとなれば、EU内での立ち位置や対ロシア・ウクライナ対応などで大きな変化を生じさせる可能性も否定できない。

ただ、若干の懸念があるとすれば、仮に「イタリアの同胞」が勝利を収めたとしても、単独過半数を獲得するほどの勢いはないということだろうか。つまり、必然的に連立を組まざるを得ず、その場合には当然相手方の要求にもある程度は答えなくてはならない。

仮に連立となれば、同じ右派に属するとみられる「同盟」や「フォルツァ・イタリア」などが、そのパートナー候補になりそうだが、いずれもあく強い政党ばかりで果たして連立交渉が上手くいくのか、そして実際の組み合わせは果たして如何に。早くも、それらを注視している向きも少なくない。

### << 英国党首選 >>

当初は強固に辞任を拒否していたジョンソン英首相だったが、5日にスナク財務相とジャビド保健相が「抗議の辞任」をしたあたりから流れは一気に加速。結局、7日に正式辞任するところとまで追い込まれている。

それを受け、8人が立候補して争われた後継者争い「英保守党の党首選」は数回の下院議員投票で絞られ、ついにスナク前財務相とトラス外相が決選投票まで勝ち残った。このあとの英保守党党首選は、最終的に全国16万人ともいわれる同党党员による郵便投票によって決定されるのだが、投票期間を長めにとっており、投票は来週から開始される見通しだ。そして、党首選の最終結果は9月5日に発表される予定となっている。

ちなみに、下院議員による投票では人気がより高かったスナク氏だが、英国で実施された最新の世論調査ではなんとトラス氏の後塵を拝する結果になったという。

前述した大手新聞社の元欧州特派員によると、トラス氏はジョンソン首相の政治的思想をほぼ引き継いでいるとされるものの、ポピュリズムを利するきらいがあり、早晩行き詰まるといった厳しい指摘も聞かれていた。それに対して、スナク氏はジョンソン氏が導入してきた「何が何でもアンチ中国」との考えから一線を

画しているところが気になるようだ。これまで培ってきた日米との同盟関係などを考慮すれば、トラス氏の方が良いという気もしないではないが、果たして英国の保守党員はどういった決断をするのだろうか。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。  
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved



FX-newsletter